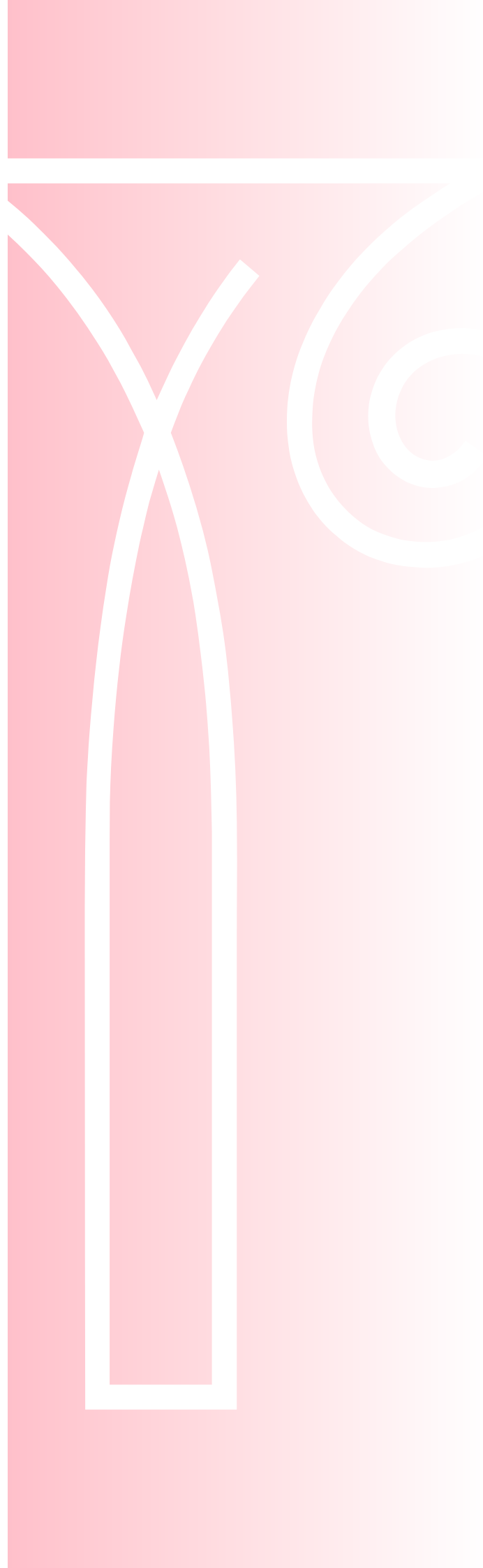


東京都庭園美術館  
年報

2017

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM  
Annual Report



## はじめに

東京都庭園美術館は、平成 29 年度、重要文化財である本館にエレベーターを設置する工事のため、「並河靖之七宝展」終了後の平成 29 年 4 月 10 日から 11 月 17 日まで全面休館し、同月 18 日に再オープンしました。

再オープン後は、「装飾は流転する」展を平成 30 年 2 月 25 日まで開催しました。当館はこれまで装飾美術に関する展覧会を積極的に開催してまいりましたが、本展は「装飾」の根源的な意味を振り返り、現代の表現の中の装飾を紹介するユニークな展覧会となりました。

平成 30 年 3 月 21 日には、西洋庭園整備とレストラン棟の完成により、平成 23 年から続いた当館の大規模改修工事も終了し、総合開館しました。

この総合開館を記念して、「アール・デコ・リヴァイヴァル！」と題して 2 つの展覧会「建物公開 旧朝香宮邸物語」、「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」を同時開催しました。「建物公開 旧朝香宮邸物語」は、重要文化財「旧朝香宮邸」の魅力を紹介する展覧会で、館収蔵品と併せ、文化財保護の立場から取り組んできた保存修復活動についても紹介しました。「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」は、フランス文学者の鹿島茂氏が所蔵する絵本コレクションの初公開で、世界的にも貴重なコレクションにより、19 世紀半ばからアール・デコ時代に至る黄金期のフランス絵本の世界を紹介し、好評を博しています。

広報事業においては、昨年度に引き続き、海外への発信強化のため SNS の積極的活用を図り、インスタグラムやツイッターによるインバウンドや新規来館者向けの周知を推進する一方、外国人の入館者数カウントや外国人アンケートによる利用実態の把握も行い、Wi-Fi 環境の整備等サービス向上に活かしています。

施設を活用した来館者の幅広い芸術文化への欲求に応えるため「ウェルカムルーム」や「あーととあそぶにわ」などの教育普及事業、「庭園美術館コンサート」「イグニションボックス」など音楽やパフォーマンスなどを継続して実施しました。

また、平成 29 年度は、改修した茶室での茶会を 2 回開催し、公募で参加者を募り、外国人も含め多くの方に日本の伝統文化を楽しんでいただきました。

これからも総合開館した施設に見合った芸術文化事業を行い、東京の魅力的な文化拠点としてさらに多くの皆様から親しまれる美術館となるよう、努めていきます。

東京都庭園美術館  
館長 樋田豊次郎

## 目次

---

基本方針 .....	1
平成29年度の東京都庭園美術館 .....	2

### 各事業報告

1. 建物・庭園公開事業 .....	3
2. 企画展示事業 .....	10
3. 紀要の発行 .....	18
4. 教育普及事業等 .....	19
5. 美術品の収集 .....	22
6. 広報事業 .....	26
7. 美術館維持管理 .....	28
8. 収益事業 .....	30

### 平成29年度の実績

1. 入館者数 .....	33
2. 広報・広告件数 .....	33
3. 収益事業収入 .....	33
4. 展覧会関連事業 .....	34
5. 出版物 .....	35

### その他

展覧会実績一覧 .....	36
施設配置図 .....	41

# 基本方針

## 1. 基本方針

東京都庭園美術館は、歴史的建造物と美術作品、庭園とが一体となった美術館として、歴史的価値の保護と新しい価値の創造を行い、都民に芸術作品の鑑賞の機会を提供し、東京都における芸術文化の振興を図るとともに、都民生活の充実に寄与していく。

### 1. 歴史的建造物の保存

国の重要文化財である旧朝香宮邸の建物と緑豊かな庭園を適正に管理し、その価値を広く社会に伝えていく。

### 2. 建物の特性を活かした美術館活動の実施

アール・デコ様式を今に伝える歴史的建造物とホワイトキューブの新館展示室との調和を図った多様な展覧会や教育普及活動を実施し、東京におけるユニークな美術館として旧朝香宮邸を活用していく。

### 3. 庭園の活用

都心には珍しい豊かな自然の残る庭園を整備するとともに、アートの視点からの活用を推進し文化的環境を創出していく。

## 2. 事業方針

東京都庭園美術館は下記の事業方針に基づき、質の高い事業を実施していく。

1. 重要文化財旧朝香宮邸の建物公開展を実施する。

2. アール・デコの美術および同時代の芸術文化を紹介する。

3. 装飾美術における様々な分野を紹介する。

4. 東京都庭園美術館の歴史性あるいは空間的特色に基づいて、多様な芸術表現を上げる。

# 平成29年度の東京都庭園美術館

## 平成 29 年

- 4月 1日 春の夜間開館(～4月2日、4月8日～9日)  
9日 「並河靖之 七宝展 明治七宝の誘惑—透明な黒の感性」閉幕 ※平成 28 年度より継続  
(平成 29 年 1 月 14 日～)  
10日 本館エレベーター設置工事のため全面休館(～平成 29 年 11 月 17 日まで)  
27日 外部評価委員会
- 7月 11日 第3回 運営企画委員会
- 11月 8日 自衛消防訓練  
18日 本館エレベーター設置工事が完了し、再オープン  
「装飾は流転する」展開幕(～平成 30 年 2 月 25 日まで)  
23日 秋の夜間開館(～11月25日まで)
- 12月 1日 第4回 運営企画委員会  
3日 茶室披き  
19日 手荷物検査(試行)

## 平成 30 年

- 1月 24日 自衛消防訓練  
30日 美術品等資料収集評価委員会
- 3月 21日 西洋庭園整備及びレストラン改築が完了してオープンし、総合開館となる。  
「アール・デコ・リヴァイヴァル!建物公開 旧朝香宮邸物語」「鹿島茂コレクション  
フランス絵本の世界」開幕(～平成 30 年 6 月 12 日まで)  
23日 春の夜間開館(～3月24日、3月30日～31日)  
28日 総合開館記念式典

# 各事業報告

## 1. 建物・庭園公開事業

### (1) アール・デコ・リヴァイヴァル!

建物公開 旧朝香宮邸物語

同時開催 鹿島茂コレクション フランス絵本の世界



期間:2018年3月21日(水)~6月12日(火)

[79日間/平成29年度中は10日間]

来館者数:7,628人(平成29年度10日間)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、

協力:朝日新聞フォトアーカイブ

年間協賛:戸田建設株式会社

担当:神保京子

展示点数:約40点

【「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」】との同時開催

1933年に竣工したアール・デコの館——旧朝香宮邸——という建築そのものの魅力を堪能するための展覧会。本年度は、館の誕生から、戦後の吉田茂元首相の外務大臣公邸時代、そして日本で初めての迎賓館の時代を経て、東京都庭園美術館の開館に至るまでの建物の歴史を紹介し、この建築空間を往来した人々の記憶に迫ろうとした。

本展では、文化学園服飾博物館所蔵の朝香宮家ゆかりの服飾コレクションやアール・デコの時代のファッションを紹介し、旧朝香宮邸とアール・デコの時代背景を浮かび上がらせた。また、今まで具体的に紹介されることのなかった館に纏わる戦後の歴史を照射することで、時代に翻弄されながらも日本における外交の重要な舞台として機能した館の特質を浮かび上がらせ、報道の対象として注目を集めた館の軌跡を振り返ることで、広く一般への興味に繋がる側面を引き出すことができた。

#### 【ハンドアウトの制作(日・英)・発行】

版型:A3二つ折

内容:「旧朝香宮邸物語」「フランス絵本の世界」共通会場見取図及び「旧朝香宮邸物語」作品リスト

デザイン:O design

#### 【関連書籍の執筆・編集】

書名:旧朝香宮邸物語 東京都庭園美術館はどこから来たのか

発行所:合同会社アートダイバー

執筆者:青木淳子、板谷敏弘、大木香奈、岡部友子、神保京子、関昭郎、高波真知子、

田中雅子、中原淳行、浜崎加織、樋田豊次郎、牟田行秀、森直義、八巻香澄、米山勇



※関連イベントは平成30年度に実施

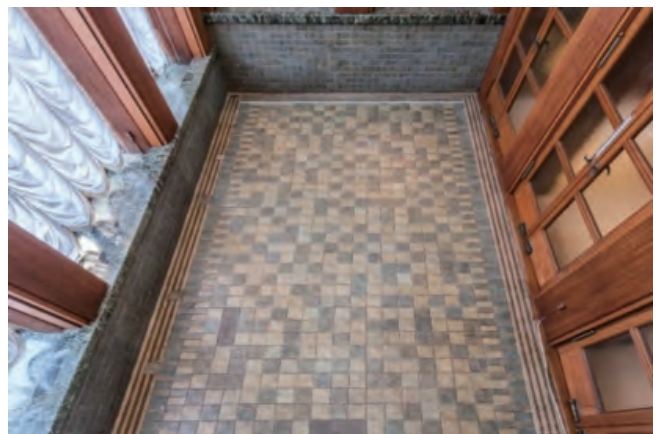


**(2) 旧朝香宮邸資料修復・復原**

ひび割れていた北側ベランダ(北の間)のタイルについて、修復を行った。また、中長期的な修繕計画を策定するため、2017年度に行った建物の保存状態に関する現況の再調査を元に、より詳細な保存方法の検討を行った。今回修復を行った箇所は、今後の展覧会等で公開・紹介するなどしていく。

**【修復・復刻】**

修復	本館二階北側ベランダ(北の間)タイルの修復	1件
調査	旧朝香宮邸の保存修復にかかる調査委託	1件
	本館エッチング・ガラスの技法調査委託	1件





(修復前)



(修復後)





### (3) ミュージアム・コンサート

本館の邸宅空間を活かしたクラシックのサロンコンサートを実施し、クラシックファンの方々にも広く当館を知ってもらおうきっかけとした。コンサートは定員を上回る公演も多数あり、観客からの高評価を得られた。

#### 【実施コンサート】

実施回数計：10回

参加者数計：874人



#### 第1回 中野翔太 ピアノ・リサイタル

開催日：2017年12月27日(水)

開演：14:00(13:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：67人

#### 第2回 山根一仁 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2017年12月27日(水)

開演：18:00(17:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：92人

#### 第3回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：2018年1月24日(水)

開演：14:00(13:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：71人

#### 第4回 戸室 玄 ピアノ・リサイタル

開催日：2018年1月24日(水)

開演：18:00(17:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：104人

#### 第5回 松本 蘭 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2018年2月28日(水)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：95人

#### 第6回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：2018年2月28日(水)

開演：18:00(17:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：87人

#### 第7回 遠藤真理 チェロ・リサイタル

開催日：2018年3月10日(土)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：95人

#### 第8回 米元響子 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2018年3月10日(土)

開演：18:00(17:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：87人

#### 第9回 東京ネバーランド 合唱

開催日：2018年3月11日(日)

開演：14:00(13:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：98人

#### 第10回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：2018年3月11日(日)

開演：18:00(17:30開場)

会場：新館ギャラリー2

参加人数：78人



## 庭園公開事業

東京都、関係工事業者と連携して西洋庭園を整備し、総合開館時に西洋庭園を開園した。樹木等の管理及び芝生の育成を行い、工事休館後の庭園公開に努めた

期間：平成29年4月1日(土)～平成29年4月9日(日)(9日間)

平成29年4月10日(月)～平成29年11月24日(金)工事休館期間

平成29年11月25日(土)～平成30年3月31日(土)(117日間)

庭園のみ入場者数:23,269人

### 【東京都庭園改修工事への連携・協力】

工事定例会に参加し、以下の工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(28)西洋庭園改修工事

工期 平成29年1月27日～平成29年8月31日

東京都庭園美術館(28)西洋庭園改修電気設備工事

工期 平成29年1月27日～平成29年8月31日

### 彫刻再設置

庭園整備に伴い一時的に撤去した彫刻のうち、エドゥアール・サンド作《座る豹》(ブロンズ)を新館前庭に再設置した。





## 茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

### 茶室披き及び第1回茶会

2017年12月3日(日)

「光華」に縁の深い武者小路千家家元後嗣千宗屋氏を招いて、午前には東京都及び財団、美術館の関係者参列による茶室披きを実施。午後是一般公募による茶会を4席実施した。

場所:「光華」広間

参加者:席主 樋田館長 亭主 千宗屋氏(武者小路千家家元後嗣)ほか重窓

午前第1部 塩見生活文化局長、武市歴文財団副理事長ほか計10名

午前第2部 三笠宮彬子女王、朝香氏ご夫妻ほか計11名

午後一般公募 85名(4席、うち1席は英語ガイド付き)

参加費 午後の部 1名1,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員20名×4回、先着順)

### 第2回茶会

2018年3月24日(土)

場所:「光華」広間

参加者:席主 東京都庭園美術館 亭主 武者小路千家 重窓

一般公募 117名(6席、うち1席は英語ガイド付き)

参加費 午後の部 1名1,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員20名×6回、先着順)

### 情景再現

11月18日(土)の美術館再開以後、「光華」広間にて茶席の様子を再現するため掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行った。

茶室入室者 27,291人(茶会参加者を除く)



第2回茶会の様子



情景再現(正月)



## 2. 企画展示事業

### (1) 並河靖之七宝展 明治七宝の誘惑—透明な黒の感性



期 間：2017年1月14日(土)–4月9日(日) [81日間／平成29年度中は9日間]  
主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、毎日新聞社  
後 援：ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、ブリティッシュ・カウンシル  
協 力：日本航空  
協 賛：岡村印刷工業  
年間協賛：戸田建設株式会社  
担 当：大木香奈、八巻香澄  
来館者数：63,752人(平成29年度9日間 13,245人)  
展示点数：142点  
関連上映映像：並河靖之七宝展関連ビデオ「並河靖之の有線七宝技法」

明治時代、輸出用美術工芸として人気を博した七宝分野で、頂点を極めた並河靖之(1845-1927)の没後90年を記念する展覧会。約80点の並河作品に同時代に活躍した七宝家たちの作品を加え、さらに制作に実際に使用された下絵等の関連資料も合わせて紹介し、合計142点の展示となった。並河の初期から晩年までの作品を一堂に会して紹介する機会はいまだかつてなく、国内外合わせても初めての並河の回顧展となった。

#### 【関連イベント】

平成28年度に実施





(2) 装飾は流転する Decoration never dies, anyway



期 間：2017年11月18日(土)–2018年2月25日(日) [86日間]  
 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館  
 後 援：イラン・イスラム共和国大使館、オランダ王国大使館、  
 タイ王国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、ベルギー王国大使館、  
 公益財団法人アーツフランダース・ジャパン  
 協 力：株式会社テシード、サンコロナ小田株式会社  
 年間協賛：戸田建設株式会社  
 担 当：八巻香澄、田中雅子  
 来場者数：38,493人

参加作家

ヴィム・デルヴォワ、ニンケ・コスター、コア・ポア、アラヤー・ラートチャムルーンスック、山本麻紀子、高田安規子・政子、山縣良和(abc 順)

概要：

本展覧会は、エレベーター設置工事による全面休館後の再オープンを飾る展覧会として開催された。これまでも当館では工芸や装飾美術を扱う展覧会を数多く開催してきたが、今回は国籍、ジャンル、世代の異なる7名の現代の作家を紹介することによって、新しい切り口を提起した。インスタレーション、絵画、映像、ドローイング、写真、ファッション、家具、もしくは複数の領域を横断する多彩な表現が、旧朝香宮邸の装飾と響き合うことで充実した展示となった。領域を超えて、装飾という行為が本来どのような機能を持っているのか、そして現代に生きる私たちにとってどのような意味を持つのか、多様な表現を通して鑑賞者とも問いを共有することを目指した。会場内に設けた、「あなたにとって装飾とは？」を問うワークルームがプラットフォームとなり、「装飾」をめぐる鑑賞者の応答も活発に行われた。





Photo: Shizune Shiigi



【展覧会カタログの企画・編集】

書名: 装飾は流転する  
発行: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館  
所収論文: 樋田豊次郎『装飾よこんにちは』  
作家ステートメント  
作家解説: 田中雅子  
作品解説: 八巻香澄  
資料(作家略歴、展示作品リスト)



【ハンドアウトの制作・発行】

タイトル: 装飾は流転する「今」と向き合う7つの方法 ハンドアウト  
判型・ページ数: A3二つ折り8ページ  
執筆・編集: 八巻香澄、田中雅子

【関連映像の制作】

《「装飾は流転する」展アーティストトーク》  
1時間51分、和英字幕つき  
出演: コア・ポア、山本麻紀子、高田安規子・政子、山縣良和、ニンケ・コスター  
撮影: 富田了平  
編集: 富田了平、東京都庭園美術館

【関連イベント】

a. アーティストトーク

本展参加作家5名が自身の活動、そして今回の展示についてのプレゼンテーションを行った。(日英同時通訳つき)

登壇者: コア・ポア、山本麻紀子、高田安規子・政子、山縣良和、ニンケ・コスター

開催日: 2017年11月18日(土)

会場: ギャラリー2

参加人数: 83名





#### b. ギャラリー・トーク

トーカー：八巻香澄、田中雅子

開催日：2017年11月25日（土）

参加人数：35名

#### c. 山本麻紀子ワークショップ「落とし物のお店」

講師：山本麻紀子（本展参加作家）

装飾とは「特別なものにする」と解釈する山本。身近にあるものを「特別なものにする」という心の動きを体験するためのワークショップを開催した。まず、子どもたちが落とし物を拾い、それにまつわるストーリーを考える。それを元に手作りの「落とし物のお店」を開き、自分の落とし物と訪れた人が見つけたものの交換を行うことで、ものにまつわる自分のストーリーを言葉にして、他者に伝えるという活動を行った。

開催日：2017年12月9日（土）、12月16日（土）\*2日連続ワークショップ

会場：新館ギャラリー2

参加人数：9人



#### d. イグニションボックス

「発火装置」の意味をもつTTM: IGNITION BOXは、美術館の空間を活用し、従来の展覧会の形式に収まらない多様な表現を紹介するパフォーマンス・プログラム。現代の美術において年々その存在感を増す動的で永続的ではない表現に対して、美術館としてどのように取り組むことが可能かを探る試みである。2014年のリニューアル・オープンを機に新しい美術館空間と共にスタートした本プログラムでは、各回異なる分野からディレクターを迎え、演劇、ライブ、映像、ダンスが融合する、領域横断的な表現の場を生み出してきた。今年度は昨年度反響が大きかった「EXTREME QUIET VILLAGE」を開催し、「実験的な微音フェスティバル」をテーマに、新しい音の体験を繰り広げたDOMMUNEと再びコラボレーションした。「装飾は流転する」展のテーマに立脚し、同展で紹介している視覚芸術を中心とした表現から、音楽やダンス、パフォーマンスあるいはメディアアートへと射程を広げることによって、現代の表現における「装飾」の解釈をさらに深めることを目指した。

DOMMUNE「EXTREME QUIET VILLAGE vol. 2 装飾の生命線」

ディレクション& Live Streaming 宇川直宏 / DOMMUNE

2018年1月20日（土）13:00-18:00

会場：新館ギャラリー2

参加者数：70名





出演 Filament(大友良英+Sachiko M)(音楽家)  
柊アリス(旋回舞踊家)  
金沢健一(彫刻家/振動演奏家)  
中山晃子(うつろいゆく現象を動く絵画として描く画家)  
谷口暁彦(メディアアーティスト/作家)  
DUENN(エレクトロニクス/コンポーザー)



DUENN



谷口暁彦



柊アリス



中山晃子



Filament(大友良英+Sachiko M)



金沢健一



(3) 鹿島茂コレクション フランス絵本の世界



期間：2018年3月21日（水）～6月12日（火）[79日間／平成29年度中は10日間]

来館者数：7,628人（平成29年度10日間）

【鹿島茂コレクション フランス絵本の世界】

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、  
読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、  
日本テレビ放送網

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協力：ノエマ

年間協賛：戸田建設株式会社

担当：浜崎加織

展示点数：約250点

【「建物公開 旧朝香宮邸物語」展との同時開催】

フランス文学者の鹿島茂氏が30年以上に渡り収集を続け、これまで秘蔵されてきたフランスの子どものための絵本コレクションを初公開する展覧会。19世紀半ばからアール・デコ時代に至るフランス絵本の黄金期を紹介した。

本展は群馬県立館林美術館との共同企画により、同氏が所蔵する絵本コレクションの調査を行い内容の充実を図り、世界的にも貴重なコレクションを紹介するまたとない機会となった。当館では特にアール・デコの時代に活躍したアンドレ・エレに着目し、「アール・デコ博覧会」とエレの関連についても紹介、当館のみで出品されたエレの作品もあり、庭園美術館での開催意義を打ち出すことができた。

【展覧会カタログ】



書名：鹿島茂コレクション フランス絵本の世界

発行所：株式会社青幻舎

所収論文：鹿島茂（フランス文学者・明治大学教授）「フランス絵本文化の後発性およびそれゆえのアヴァンギャルド性について」、石橋正孝（立教大学助教）「〈驚異の旅〉の挿絵画家たち」、松下和美（群馬県立館林美術館）「モーリス・ブテ・ド・モンヴェルの絵本における時代性」、浜崎加織（東京都庭園美術館）「アール・デコとアンドレ・エレの玩具」、倉方健作（九州大学准教授）「エミール・コールとバンジャマン・ラビエ」

【作品リストの制作】

版型：A3 二つ折、8 ページ

内容：「フランス絵本の世界」展作品リスト



【関連イベント】

「音楽で楽しむフランス絵本の世界

青柳いづみこによるドビュッシー『おもちゃ箱』

出演者：青柳いづみこ（企画・ピアノ・トーク）

村松稔之（ナレーター、カウンターテナー）

開催日：2018年3月30日（金） 18:30～

会場：新館ギャラリー2

参加人数計：82名



※その他の関連イベントは平成30年度実施





### 3. 紀要の発行

---

「東京都庭園美術館紀要 2017-2018」の刊行



所収原稿：「装飾は流転する「今」と向きあう7つの方法 Decoration never dies, anyway」展覧会概要

『ポリフォニーを通じて考える「装飾」』 八巻香澄（東京都庭園美術館 学芸員）

『祝祭のあとに』 田中雅子（東京都庭園美術館 学芸員）

『重要文化財（建造物）旧朝香宮邸本館 姫宮バルコニーの当初仕様について』

岡野法子（文化財建造物保存技術協会 専門職員）

発行方法：ウェブサイトで公開



## 4. 教育普及事業等

当館では教育普及事業をラーニング・プログラム「ようこそ あなたの美術館へ」と名付け、当館の活動の柱である建物公開事業・展覧会事業・庭園公開事業への、多様な方々にとっての入り口となるためのプログラムを行っている。「ようこそ あなたの美術館へ」では、次の3つを目指している。

- ①美術館体験と日常をつなげる。
- ②一人一人が美術館での自分の楽しみ方を発見する。
- ③時間や場所やテーマをシェアする中で、新しい感じ方・考え方に会う。

そのために、開館日にはいつでも利用できる「ウェルカムルーム」に加え、「ギャラリー・カンパセーション」、「あーととあそぶにわ」などの各種ワークショップなどを開催している。

### (1) ウェルカムルーム運営

来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむための、ラーニング・プログラムの拠点。カンパセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、ワークショップの会場としても活用。展覧会ごとに模様替えを行い、展覧会にあわせたプログラムも実施している。

利用者数：10,721人(開館日数 105日)

永山祐子建築設計のデザイン監修により、本棚の新設を含む配置の変更を実施。

### (2) ワークショップ等

#### a. 山本麻紀子ワークショップ「落とし物のお店」【小学校3～6年生対象】

開館期間が屋外の気温が低く、小学生を対象として例年開催してきた屋外のプログラム「あーととあそぶにわ」が開催できなかったため、小学生向けのプログラムを展覧会と関連づけて実施した。講師は「装飾は流転する」展参加作家の山本麻紀子氏。小学生たちが「落とし物」に関する物語を作り、それを語るお店を運営した。(有料・事前予約制)

講師：山本麻紀子(「装飾は流転する」参加作家)

開催日：2017年12月9日(土)13:30～16:00、12月16日(土)11:00～16:00

参加者数：9名

お店営業日時：2017年12月16日(土)13:20～15:00 参加者数：約80名

#### b. 「五感と想像力で歩く建築ツアー」

本館建築を五感と想像力を駆使して鑑賞するプログラム

参加費無料・事前予約制

ウェルカムルームにて「さわる小さな庭園美術館」を使って対話をし、その対話の内容にあわせて見学する部屋や体験内容が変わる。光や空気の流れなどを敏感に感じ取ったり、ここで聴こえていたはずの音楽やディナーの匂いを想像したりと身体感覚と記憶を呼び起こしながら、参加者同士で対話をし、さまざまな発見を行う。歴史や建築技法の解説ツアーとは異なる、建築体験を提案





ファシリテーター：八巻香澄

開催日：2018年3月22日（木）18:30～20:30 参加者数14名

c.「みんなで作るギャラリー・カンパセーション」

「対話」を切り口に活動しているファシリテーター等との協働で実施しているプログラム。（有料・事前予約制）

今年度は答えのない問いについて対話をしながら歩く「哲学ウォーク」という手法を基に、展覧会「装飾は流転する」の出品作品を見て歩きながら対話を行った。

ファシリテーター：萩野亮一（慶應義塾大学／シアタープラクティショナー）  
神戸和佳子（東京大学／哲学講師）

開催日：2018年2月17日（土）15:00～17:00 参加者数10名

2月18日（日）11:00～13:00 参加者数10名

2月18日（日）15:00～17:00 参加者数15名

2月20日（火）14:30～17:00 参加者数14名

2月20日（火）18:30～21:00 参加者数15名



d.「ココリエイション」宮内康乃「響きあう、いとあなたと」

建物見学や展覧会鑑賞から一歩踏み込んで、部屋ごとに多彩な表情を見せる当館の建築空間を舞台として、創作活動を行うプログラム。当館の空間とアーティストと参加者とのココリエイション（共創）を目的とする。（有料・事前申込制）

3年目となる今年度は、音楽パフォーマンスグループ「つむぎね」を主宰する作曲家・宮内康乃氏を迎え、「声」を使ったワークショップを行った。最終日にはその学びの成果として、事前申込の観覧者にむけてのパフォーマンスを行った。

アーティスト：宮内康乃（作曲家・音楽家）

サポートミュージシャン：浦島晶子／筒井史緒／横手ありさ

開催日：（3回連続プログラム）

2018年2月 4日（日）18:00～21:00

2月10日（土）18:00～21:00

2月11日（日）18:00～21:00

参加者数：13名

公開パフォーマンス：2018年2月11日（日）19:00～18:00 観覧者数：22名





### (3) 学校団体見学等受け入れほか

#### a. 学校団体見学

1	2017年11月25日	首都大学東京システムデザイン学部	10名
2	2017年12月2日	法政大学キャリアデザイン学科2年	6名
3	2018年1月9日	共立女子大学国際学部 比較文化論	13名
4	2018年1月23日	港区立白金小学校 4年1組	28名
5	2018年1月29日	港区立白金小学校 4年2組	28名
6	2018年1月30日	港区立白金小学校 4年3組	31名
7	2018年1月31日	品川区立第三日野小学校 5年生	105名
8	2018年2月4日	東京都現代美術館ガイドスタッフ研修	15名
9	2018年2月11日	「美術と手話」	15名
10	2018年2月16日	目黒区立第七中学校	6名

#### b. その他

・公益財団法人 東京都歴史文化財団 連携事業

「学校と文化施設をつなぐティーチャーズプログラム2017」

実施日:2018年7月28日

会場: 東京都写真美術館

内容: 当館ラーニング・プログラムについて説明

・NPO法人エイブル・アート・ジャパン主催「アートとソーシャルデザイン」研究会

第4回 手話は伝達手段をこえる?! 美術と手話プロジェクトの試み

実施日:2017年8月26日

会場: アーツ千代田3331 A/Agallery(2F)

内容: 事例報告



## 5. 美術品の収集

アール・デコ期の国立セーヴル製陶所(原型：ジョゼフ・コルミエ)の素焼きの磁器、ロシア出身で、パリで活躍したアール・デコの代表的画家アレクサンドル・ヤコブレフの書籍《アフリカのデッサン》やアンドレ・エレの絵本4点、カッサンドルやエルテが表紙デザインを手掛けたハーパス・バザー16点を購入した。また、2015年に当館で個展を開催したオットー・クンツリのジュエリー1点、金子稜威男のジュエリー5件、今年度の企画展「装飾は流転する」展の参加作家である高田安規子・政子より立体作品1点の寄贈を受けた。幅広い分野から、当館の収集方針に沿う質の高い作品及び資料を収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待されている。

### 【購入】

#### (1) タイトル：女性と子ども

作者：国立セーヴル製陶所

原型：ジョゼフ・コルミエ

制作年：1931年

素材・技法：ビスキュイ(素焼きの磁器)

サイズ：H36×W47×D14.5cm

#### (2) タイトル：アフリカのデッサンと油彩

作者：アレクサンドル・ヤコブレフ

制作年：1927年

素材・技法：紙にオフセット印刷、版画

#### (3) タイトル：おもちゃ箱

作者：アンドレ・エレ

制作年：1913年

素材・技法：リトグラフ

#### (4) タイトル：私の幼年時代

作者：アンドレ・エレ

制作年：1942年

素材：リトグラフ

#### (5) タイトル：英雄的苦難の時代

作者：アンドレ・エレ

制作年：1919年

素材：リトグラフ

#### (6) タイトル：80 ページ世界一周

作者：アンドレ・エレ

制作年：1927年

素材：リトグラフ





(7) タイトル：Harper's Bazaar (US 版)

制作年：1933年2月号、1933年7月号、1936年6月号、1937年4月号、1937年7月号、1938年6月号、1938年7月号、1938年8月号、1938年9月号、1938年10月号、1938年11月号、1938年12月号、1939年1月号、1939年5月号、1939年10月号、1939年12月号

素材：リトグラフ

サイズ：33.6x24.8 cm

全16巻

【寄贈】

(8) タイトル：a. チョーカー(ミツマタ)

b. ネックレス(銀)

c. イヤリング(一対)、チョーカー、ブレスレットのセット

d. チョーカー(銀)

作者：金子稜威男

制作年：(a)2002(b)1995(c)1993(d)1994-95年頃

素材：銀、金、ミツマタ

サイズ (a)H16x 直径 27cm (b)H3x63cm (c)2x2cm, H12.5x34cm, H2.5x 直径 6cm (d)H5.5x34.5cm

(9) タイトル：ブローチ

作者：金子稜威男

制作年：1993年

素材：銀

サイズ：9.5 x 5.5cm

(10) タイトル：Kagami

作者：オットー・クンツリ

制作年：2014-15

素材：備長炭、漆、銀、絹

サイズ：10.1x10.1x0.4cm

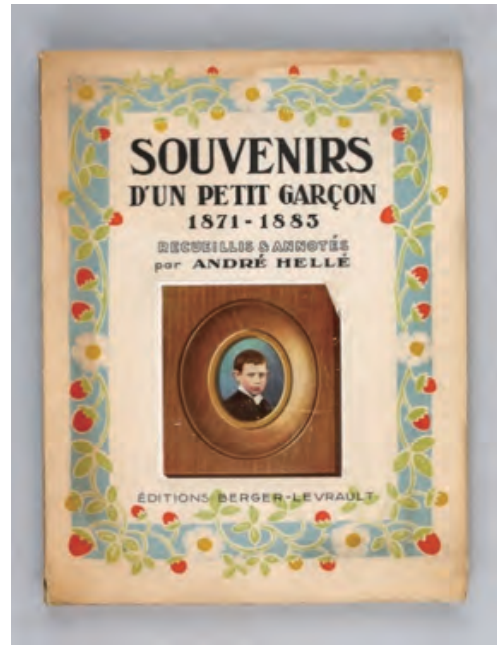
(11) タイトル：Jewelry Room

作者：高田安規子・政子

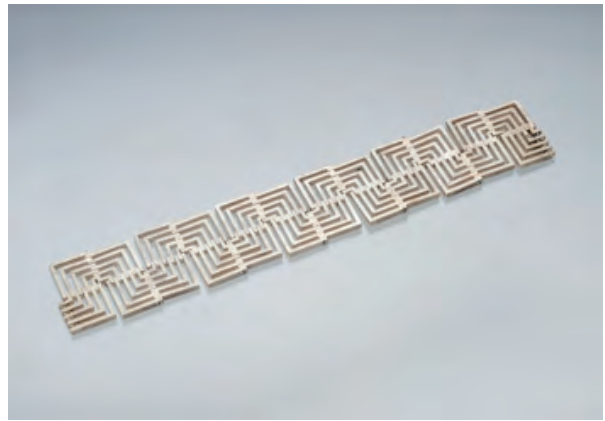
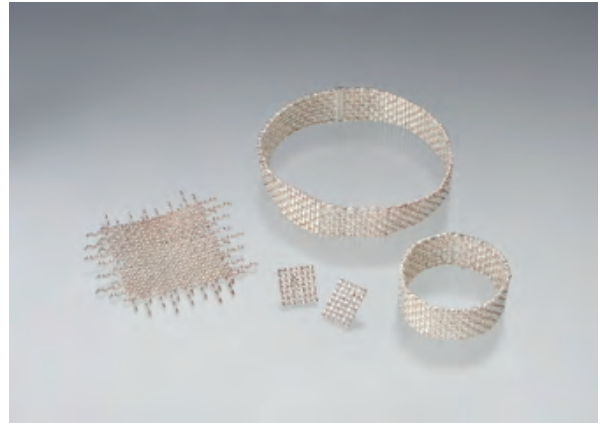
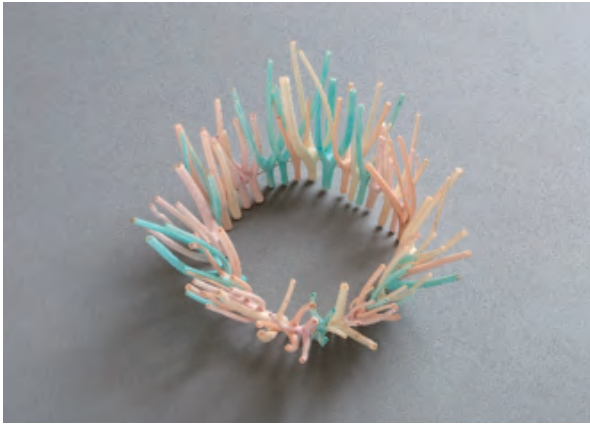
制作年：2017

素材：装身具、宝石箱、テッコーの壁紙

サイズ：59.5 x 68 x 46 cm



- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (7)



- |       |       |
|-------|-------|
| (8)-a | (8)-c |
| (8)-b | (8)-d |
| (10)  | (11)  |



## 6. 広報事業

4月～11月の休館に伴いツイッターのフォロワーが減少したが、11月の再開以降盛り返し、2018年3月末には10万8千を超えた。一方で昨年度開設したインスタグラムについては、「装飾は流転する」展が撮影可だったこともあってかフォロワーは大幅に増え、昨年度末2,300程度だったが2018年3月末には6,300を超えており、約2.7倍になった。インスタグラムのユーザーは20～30代の女性が多いことから、この層に向けた美術館のイメージアップには非常に有効な手法となった。

また、3月の総合開館に合わせ、公式ウェブサイトの情報整理を行うとともに、これまでの日・英に加えてフランス語・簡体字・ハングルのページを開設し多言語化した。

コレクションのウェブサイトでの公開は2018年3月から実施した。画像及び作品(資料)情報が整備された36件のみであるが、今後追加と情報の更新を行っていく。

改修工事等が完了したことに伴い、来館者への配布物である「ご案内」(日・英)を全面改訂し、視察対応等で配布する「施設概要」(日英併記)も全面改訂した。

また過去に「美術館ニュース」で連載していた「旧朝香宮邸の歴史を訪ねて」(ウェブサイトで公開中)をリライトし、当館編集による書籍『旧朝香宮邸物語 東京都庭園美術館はどこから来たのか』(発行/合同会社アートダイバー)を出版し、3月28日の記念式典で配ったほか、一般販売も行っている。

### 【実績】(※3月末現在)

TV・ラジオ放送件数…………… 8件

「装飾は流転する」展がNHK「日曜美術館アートシーン」で紹介されたほか、西洋庭園とレストランの工事完了に伴う総合開館について、TOKYO MXテレビの「ニュース」及び「インフォメーション」で紹介された。また「旧朝香宮邸物語展」についてはNHKのお昼の首都圏ニュースで紹介された。

新聞掲出件数…………… 17件

「装飾は流転する」展については、いわゆる五大紙に掲載されたが、単なるインフォメーションではなく記事として掲載されたものが多かったため、展覧会の趣旨や見どころを伝えるのに有益だった。

雑誌掲出件数 …………… 166件

7ヶ月間の休館後ということもあり、「装飾は流転する」展の掲出が多かった。また「フランス絵本の世界展」についても堅調であった。

Webサイト      アクセス数…………… 2,099,190件

SNS              投稿数 …………… 124回(ツイッター69/フェイスブック38/インスタグラム17)

美術館前バナー   1か所…………… 更新回数3回

目黒通りバナー   18か所 …………… 更新回数3回

### 展覧会プレスリリース発送数

装飾は流転する…634    アール・デコ・リヴァイヴアル…657

### 展覧会プレス内覧会参加者数

装飾は流転する…86人    アール・デコ・リヴァイヴアル…53人



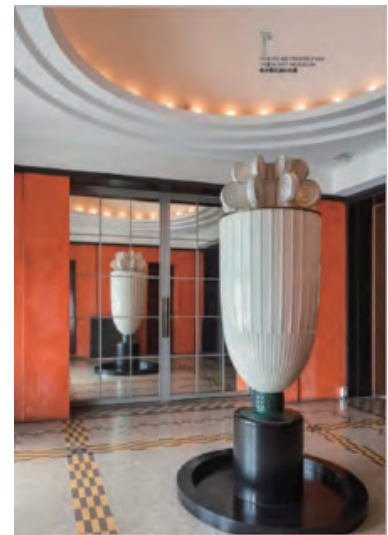
パンフレット「東京都庭園美術館ご案内」(日・英)発行部数…………… 50,000部(日)/10,000部(英)



多言語化ウェブサイト(ハンブル)



東京都庭園美術館ご案内(日)



施設概要改訂版(日英併記)



コレクションのウェブサイト公開



## 7.美術館維持管理

平成 29 年度は、展覧会、庭園合わせて約 8 万人の来館者を迎えたが、大きな混乱もなく来館者が安全・快適に鑑賞できるような館の体制を築いた。また、半年間の休館を利用し多数の工事を実施するなど、来館者にとっても重要文化財である本館にとってもより良い運営ができるように改良を行っている。

### 1) 設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

### 2) 館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

### 3) 工事・修繕等

- ・ 本館、新館、レストランエリアの Wi-Fi 設置工事(※本館・新館は Free Wi-Fi & TOKYO へ切替)
- ・ 本館間接照明の一部 LED 化工事
- ・ 庭園彫刻照明の増設工事
- ・ 本館、新館の来館者用トイレ手摺等増設工事
- ・ アプローチ等屋外照明の増設工事
- ・ 本館沓摺段差解消

### 4) 本館結露対策

国の重要文化財である本館は秋から冬にかけての結露が酷く、S8 年竣工時の建具等の腐食や劣化を促進させていることが長年の懸案事項であったが、特に結露の酷いと思われる小食堂・喫煙室の2部屋窓ガラスに対し、旭ガラス製「アトッチ」を既存窓ガラス(S58 年取付)の上から取付けた。それにより、結露を軽減することができ、一定の効果を発揮している。平成 29 年度は試行的に2部屋限定に工事を実施したが、将来的にはその他の部屋に対しても取付工事を検討してゆきたい。

### 5) 敷地内・館内サインの改良

敷地内・館内サインは、平成 26 年のリニューアルオープン時に一新したが、2 年半の運用後、受付・監視・ショップスタッフなど委託業者の意見も参考に、より来館者の動きに即したサインへ改良した。特に、入口と出口が同一であるという当館建物の特性を考慮し、出口への誘導がスムーズになるよう改良している。

### 6) ウインターガーデンの再公開

屋上に吊下げ式はしごを設置し、火災時の2方向避難路が確保させたため、3月21日より本館3階のウインターガーデンを再公開した。

再公開にあたっては、安全に鑑賞いただくため、係員を配置し、入室者の制限を行った。

### 7) 防災訓練の実施

第1回：平成 29 年 11 月 8 日(水)実施／第2回：平成 30 年 1 月 24 日(水)実施



8) 東京都庭園改修工事への連携・協力

工事定例会に参加し、館の立場から来館者の利用しやすい施設となるよう情報提供し、工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(28)エレベーター棟増設工事／東京都庭園美術館(28)エレベーター設置工事

工期 平成 29 年 2 月 17 日～平成 29 年 10 月 16 日

東京都庭園美術館(28)レストラン新築工事／東京都庭園美術館(28)レストラン新築電気設備工事

東京都庭園美術館(28)レストラン新築給排水衛生・ガス・厨房設備工事

東京都庭園美術館(28)レストラン新築空調設備工事

工期 平成 29 年 2 月 20 日～平成 30 年 2 月 20 日

東京都庭園美術館(29)パーゴラ取外し工事

工期 平成 29 年 12 月 11 日～平成 30 年 3 月 26 日



改修したサインの一例



改修したサインの一例



「アトッチ」施工の様子



再公開したウインターガーデン



## 8. 収益事業

### (1) ミュージアムショップの運営

新館1階 NOIR(ノワール)及び正門横 BLANC(ブラン)の2店舗のミュージアムショップでは、来館者等にオリジナル商品、展覧会図録やグッズ、各種書籍やアート関連商品等を販売している。

それぞれの場所と来館者のニーズに合わせ、NOIR では展覧会毎のオリジナルや関連グッズを中心として販売し、BLANC では当館のオリジナルグッズのほかさまざまなギフト商品を取り扱い、また展覧会に合わせたフェアを行うなど、2店舗の差異化を図って購買意欲を高めるよう努めた。

#### 【実績】

##### NOIR(ノワール)/ 新館1階

購入客数：9,091 人

営業日数：105 日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

##### BLANC(ブラン)/ 正門横

購入客数：3,118 人

営業日数：126 日

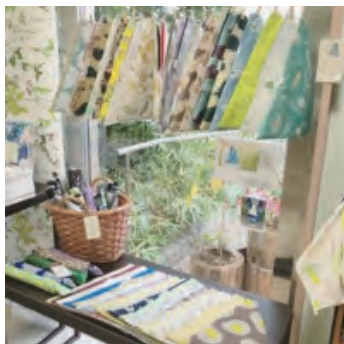
営業時間：10：00～18：30

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始

事業者：美術出版エデュケーショナル(NOIR、BLANC とも)

実施したフェア/イベント

イベント名	開催店舗	開催期間
nostos books アートブックフェア	NOIR	2017/11/18～2018/2/25
イイダ傘店「冬の傘展」	BLANC	2017/11/18～12/26
D-BROS ポップアップストア	BLANC	2018/1/4～3/13
Boîte×BLANC「ブランの蚤の市」(開催中)	BLANC	2018/3/15～6/12



イイダ傘店「冬の傘展」



Boîte×BLANC「ブランの蚤の市」





## (2) レストラン、カフェの運営

2018年3月21日から正門横のレストラン「Du Park」(デュ パルク)がオープンした。西洋庭園と本館側がサッシレス全面ガラスの開放感ある建物で、フレンチをベースにランチからディナーまで提供している。新館1階のカフェ「café TEIEN」(カフェ庭園)は、2017年11月の美術館再開時から、レストランと同一の事業者が営業を開始した。とくにオリジナルのスイーツが充実しており、「装飾は流転する」展に合わせたスイーツは見栄えの良さからインスタグラムに多くアップされた。

### 【実績】

#### レストラン「Du Park」

利用者数：1,087人

営業日数：10日

営業時間：ランチ 11：00～14：00

カフェ 14：00～17：00

ディナー 17：00～20：00\*閉店は22：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始

席数：52席(テーブル44席/カウンター8席)

#### カフェ「café TEIEN」

利用者数：7,809人

営業日数：96日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス12席)

事業者：ロアラブッシュ株式会社(「Du Park」「café TEIEN」とも)



レストラン「Du Park」



カフェ「café TEIEN」



## ユニークベニュー事業

今年度から、歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できる会場となるユニークベニュー事業を開始した。

### 平成 29 年度実績

#### (1) 実施

事業名 writtenafterwards 10th Anniversary Collection “After Wars” ファッションショー

日時 2017年11月17日(金)18:00~18:30

主催 株式会社リトゥンアフターワーズ

会場:東京都庭園美術館 正面玄関前(屋外)

来場者数:1,029人(椅子席400、立ち見629)

概要:デザイナー山縣良和が手がける「リトゥンアフターワーズ」の2018年春夏コレクションのランウェイショー。テーマは「After Wars」。

「ファッションとは何か?」を問い続けた10年、リトゥンアフターワーズが「戦後」コレクションで表現した日本らしさを提示した。またファッションショー終了後、ショーの観客を対象に「装飾は流転する」展の特別鑑賞会を実施した。



#### (2) パンフレットの作成

当館におけるユニークベニュー事業のご案内のためのパンフレットを作成した。



# 平成29年度の実績

## 1. 入館者数

(単位:人)

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間目標	前年同期累計	組織目標計画対比
企画展	並河靖之七宝展	13,245											13,245	7,000	-	189.2%
	装飾は流転する展							7,128	9,275	8,735	13,355		38,493	52,000	-	74.0%
	フランスの絵本(仮称)、建物公開展											8,123	8,123	6,200	-	131.0%
															-	#DIV/0!
観覧者 合計	13,245	0	0	0	0	0	0	7,128	9,275	8,735	13,355	8,123	59,861	65,200	238,983	91.8%
庭園のみ入場者	2,719							3,813	4,868	1,615	2,550	7,704	23,269	12,600	37,853	-
その他入館者	展覧会に伴う講演会	0						83	0	0	0	0	83		896	#NAME?
	展覧会ギャラリーツアー等	0						35	0	0	0	96	131		563	#DIV/0!
	ワークショップ等	0						0	18	0	0	0	18		896	#DIV/0!
	ミュージアム・コンサート	0						0	159	175	182	358	874		839	#DIV/0!
	その他イベント	0						0	85	70	64	199	418		2,135	#DIV/0!
	その他入館者合計	0	0	0	0	0	0	0	118	262	245	246	653	1,524	0	5,329
入館者 総合計	15,964	0	0	0	0	0	0	11,059	14,405	10,595	16,151	16,480	84,654	77,800	282,165	108.8%

※その他入館者は、館主催の自主事業利用者数とする。  
 ・展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。  
 ・上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。

外国人入館者	企画展	75						11	110(うち103はJET研修生)	5	146	67			-	1,344	-
	庭のみ	34						4	8		38	121			-	412	-
茶室公開	3,681							4,270	5,886	3,814	5,023	4,617			-	7,644	-

## 2. 広報・広告件数

(単位:件)

事項	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	2	8	32.0%
	新聞掲出件数	1	0	1	0	0	0	0	3	3	5	1	3	17	25.8%
	雑誌等掲出件数	5	1	10	10	3	9	11	32	26	23	18	18	166	64.3%
ホームページ	アクセス件数(PV)	202,802	98,409	79,856	22,406	85,018	100,143	119,740	299,728	228,689	262,579	282,081	317,739	2,099,190	46.3%
ツイッター	フォロワー数	0	0	0	0	0	107,429	107,663	107,838	107,982	108,149	108,461	108,875	756,397	16.7%

## 3. 収益事業収入

(単位:円)

管理手数料及び売上高	事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
	MS管理手数料	672,493							273,505	378,000	378,000	390,032	390,954	672,493	6.1%
	カフェ管理手数料	274,587							167,576	280,800	280,800	280,800	601,560	274,587	6.3%
	駐車場売上高	170,000							176,500	222,500	157,000	247,500	258,000	170,000	4.6%
	自販機管理手数料	34,339	21,802	19,648	24,894	23,144	26,512	22,565	24,470	16,490	19,187	23,755	31,912	288,718	63.2%
	計	1,151,419	21,802	19,648	24,894	23,144	26,512	22,565	642,051	897,790	834,987	942,087	1,282,426	1,405,798	7.2%

(参考) ミュージアムショップ売上高

(税抜)

MS売上高	事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
	開店日数	9							13	25	25	26	29	9	3.0%
	売上高(円)	6,560,275							2,794,075	3,505,396	3,072,727	4,812,998	3,779,230	6,560,275	6.1%
	購買客数(人)	4,337							1,268	1,808	1,899	2,954	2,303	4,337	7.2%
	1日平均売上金額	728,919							214,929	140,216	122,909	185,115	130,318	728,919	19.0%
	1人平均購買金額	1,513							2,204	1,939	1,618	1,629	1,641	1,513	7.8%

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む



(参考) カフェ売上高

(税抜)

カテゴリー	事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同期比
		売上高	開店日数	9							12	25	25	24	10
売上高(円)	2,542,480								1,551,630	2,276,800	1,725,671	2,443,460	3,953,990	14,494,031	35.7%
飲食客数(人)	1,942								1,294	1,848	1,439	2,034	2,281	10,838	36.9%
1日平均売上金額	282,498								129,303	91,072	69,027	101,811	395,399	138,038	7.9%
1人平均飲食金額	1,309								1,199	1,232	1,199	1,201	1,733	1,337	8.4%

※3/21に開店したレストランを含む

## 4. 展覧会関連事業

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	0							1	0	0	0	0	1
	延実施日数	0							1	0	0	0	0	1
	延実施回数	0							1	0	0	0	0	1
	延参加人数	0							83	0	0	0	0	83
展覧会ギャラリーツアー等	実施事業数	0							1	0	0	0	2	3
	延実施日数	0							1	0	0	0	2	3
	延実施回数	0							1	0	0	0	2	3
	延参加人数	0							35	0	0	0	96	131
ワークショップ等	実施事業数	0							0	1	0	0	0	1
	延実施日数	0							0	2	0	0	0	2
	延実施回数	0							0	2	0	0	0	2
	延参加人数	0							0	18	0	0	0	18
ミュージアム・コンサート	実施事業数	0							0	1	1	1	1	4
	延実施日数	0							0	1	1	1	2	5
	延実施回数	0							0	2	2	2	2	8
	延参加人数	0							0	159	175	182	358	874
その他イベント	実施事業数	0							0	1	1	2	2	6
	延実施日数	0							0	1	1	6	2	10
	延実施回数	0							0	4	1	8	7	20
	延参加人数	0							0	85	70	64	199	418

※記載する事業について

- ・展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。
- ・上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。

※随時体験型イベントの実施回数は1回/月とみなす。



5. 出版物

	<p>装飾は流転する 「今」と向きあう7つの方法 Decoracion never dies, anyway</p> <p>発行数 2,600部 平成29年12月17日 発行 編集 八巻香澄 田中雅子 発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 販売価格 1,500円(税込)</p>
	<p>鹿島茂コレクション フランス絵本の世界</p> <p>発行数 一般書籍のため未定 平成29年9月29日 発行 企画 松下和美(群馬県立館林美術館) 浜崎加織(東京都庭園美術館) 著者 鹿島茂 発行所 株式会社青幻舎 販売価格 3,200円(税別)</p>
	<p>旧朝香宮邸物語</p> <p>平成30年3月28日 発行 編集 東京都庭園美術館 発行所 アートダイバー 販売価格 1,800円(税別)</p>
	<p>東京都庭園美術館紀要 2016-2017</p> <p>平成30年3月30日 発行 発行数 (ホームページで公開) 編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 販売価格 無料</p>

## その他

### 展覧会実績一覧

---

#### 1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

#### 1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

#### 1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

#### 1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

#### 1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

#### 1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)



ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)  
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)  
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)  
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)  
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)  
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)  
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)  
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)  
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)  
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)  
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)  
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)  
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)  
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)  
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)  
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)  
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)  
バ里・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)  
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)  
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)  
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)  
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)  
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)  
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)  
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)  
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)  
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)  
ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)  
フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)  
レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)  
アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)  
スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)  
エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)  
林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)  
日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)  
北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)  
ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)  
アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)  
パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)  
東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)  
フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)  
華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)  
イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)  
ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)  
ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)  
リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)  
宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)  
パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)  
デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)  
指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)  
ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)





2001 平成13年

- ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
- ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
- ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
- 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
- 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
- カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
- マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
- ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
- ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
- ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
- マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
- アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

- パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
- シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
- 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
- エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
- 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

- 日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
- ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
- 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
- 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
- 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

- 宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
- 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
- アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

- アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
- 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
- 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
- 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
- アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)  
 オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)  
 舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)  
 アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)  
 1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)  
 エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)  
 ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)  
 パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)  
 アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)  
 ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)  
 有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)  
 香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)  
 朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)  
 森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)  
 皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)  
 アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクト／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)  
 内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)  
 マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)  
 アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)  
 オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)  
 メディチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)  
 こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)  
 アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)  
 クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日／平成28年度中は72日)  
 装飾は流転する 2017年11月18日～2月25日(86日)

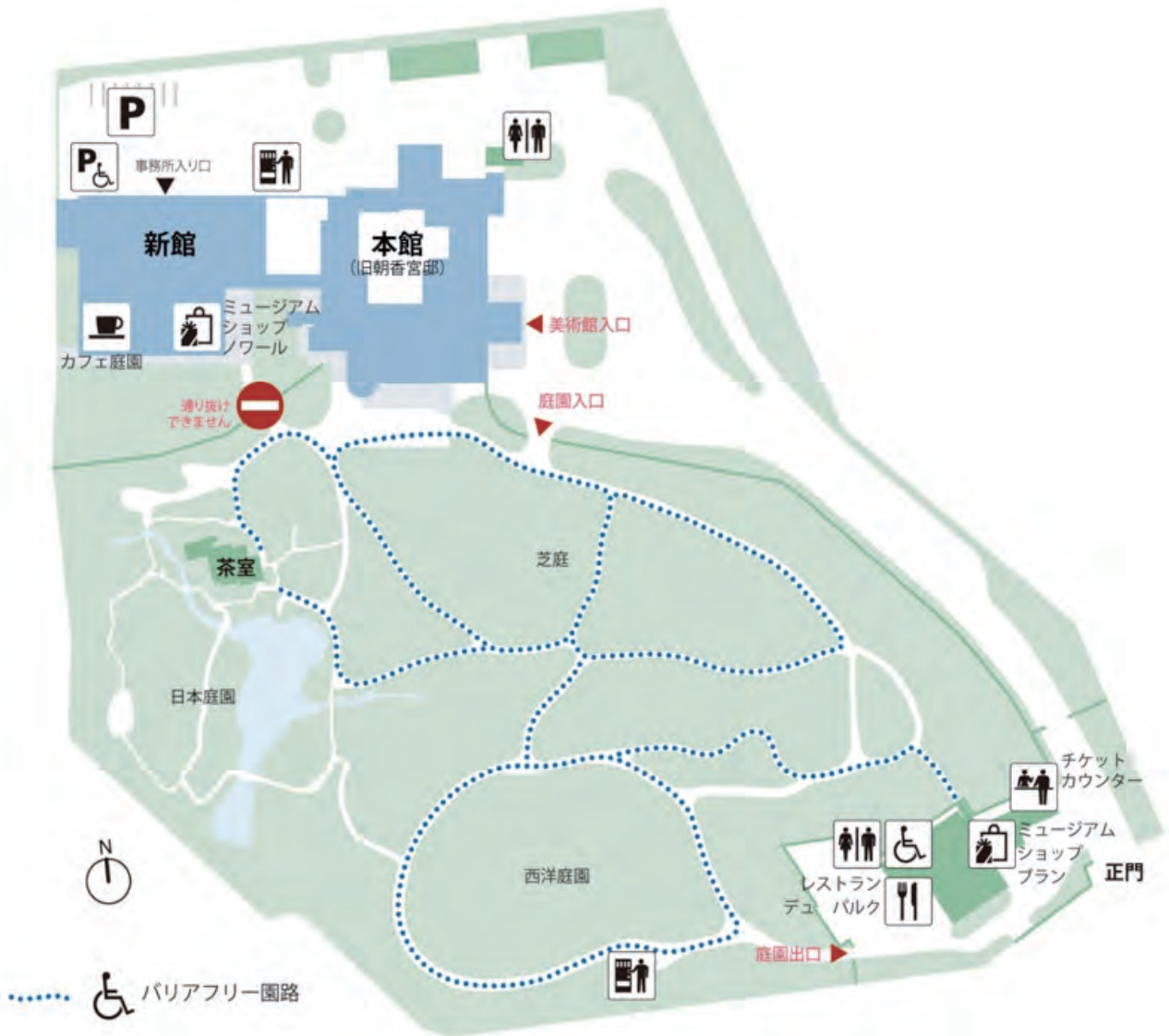


2018 平成30年

アール・デコリヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)  
フランス絵本の世界 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)



施設配置図





本館(旧朝香宮邸)



新館



茶室

